

世の中で「よりよく生きる」力をつける

校長 竹中 健二

揖斐川町清水地区は、北に長良山を仰ぎ、清流揖斐川が流れる山紫水明の地です。「きよみず」の名にふさわしく、校区にはいくつもの小川が流れ、魚をはじめ多くの生き物が育ち、夏には蛍も見られます。

本校は、戦国時代の武将で、斎藤道三・織田信長・豊臣秀吉に仕えた稲葉一鉄の居城であった清水城跡に建ち、正門横には当時の石垣が残っています。明治6年開校以来、歴史と伝統を積み重ね、令和5年度には150周年を迎えます。

令和4年度は、全校児童74名で7学級の小規模校ですが、子どもたちは素直で明るく、学年を超えて全校で仲良く活動しています。保護者や地域の方々も教育活動にとっても協力的です。地域を主体とした「ふるさと学習推進委員会」が位置づけられ、ふるさとに誇りと愛着をもつ子どもたちが育っています。

学校の教育目標を「きよらかな心で、よく考え、みずから活動する子」とし「人を大切にする力・自分の考えをもち表現する力・挑戦する力」を育むことを目指しています。

この教育目標と合わせて、学校の教育活動全般を通して「世の中でよりよく生きる力をつける」ことを目指し、「誰もが笑顔になる学校」づくりを進めます。

子どもたちは、自分の目標や夢を達成したり、人の役に立ったり、自分の成長を知ったりしたとき、大きな喜びを感じ、心からの笑顔になります。この笑顔は、必ず家庭や地域の笑顔を生み、教職員の笑顔にもつながります。そのためにも、よさを認めることを基調とした学校経営・学級経営を行うことで、子どもたちの自己肯定感を高めることに努め、全職員で清水小学校に関わる誰もが笑顔になる学校づくりを進めてまいります。これからも清水小学校の教育活動へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

